

うつのみや教育改革

セカンドステージへ

宇都宮市では、本年度を「うつのみや教育改革セカンドステージ」として、家庭、地域、学校、企業と一体となって人づくりを推進していきます。このパンフレットは、「宮っこ」の学びを支える家庭、地域、学校、企業の役割、教育改革の主な取組などをわかりやすく示したものです。



家庭の教育力向上
(親学のススメ)



地域の教育力向上
(地区ボランティア活動)



心豊かでたくましい
宮っこの育成



学校力の向上
(特色ある学校づくり)



企業の教育力向上
(企業による出前授業)

私たちの子ども時

【乳児のころ（おおむね0～1歳ごろ）】

おしめが汚れたり、おなかがすいたりした時、大きな声で泣いて親に助けを求めました。

この「SOSのサイン」に対し、親は、おしめ交換や授乳などをしてくれ、私が快適に生活できるようにしてくれました。

このことを通して、私は、困ったら親が必ず助けてくれるという「安心感」を実感できました。



【幼児のころ（おおむね2～5歳ごろ）】

この「安心感」をもとに、親と離れて遊ぶことができるようになり、幼稚園や保育所、公園などで、泥だらけになってお友達と遊びました。

その中で、けんかした友達と仲直りしたり、おもちゃの貸し借りや遊具をなかよく使ったりすることなどを通して、ルールを守って行動することの大切さや「やってよいこと」と「いけないこと」を区別し行動することを学びました。



【小学生のころ（おおむね6～12歳ごろ）】

小学校では、たくさんの方のことを勉強しながら、学年をこえた交流により、思いやりや仲間とうまく付き合う力を身に付けました。

また、子ども会活動など地域活動では、同じ目標実現に向けて努力するきびしさや地域の大人とふれあうことにより、親などと違ったものの見方、考え方があることを学びました。



代を振り返ると

【大人になって（おおむね30歳～）】



私たちは、このように多くの人たちからたくさんのことを学んで、社会人としても一人前の大人になりました。でも、子育ては初めての経験なので、ちょっと不安を感じています。



【青年のころ（おおむね16～30歳ごろ）】

たくさんの人と^ふれ合うことで、「自分って、こんな人」という自分像が見えてきたように思います。

そう気づいた頃から自分に「自信」が出てきて、周囲の人や自分と違った考えをもつ人を、かけがえのない存在として認め尊重できるようになりました。

また、自分の家庭の様子を見ながら、将来の家庭像を^{ふく}らませました。



【中学生のころ（おおむね13～15歳ごろ）】

中学校では、人生の大きな転機である進路選択をひかえ、勉強と部活動の両立に悩みました。

また、ちょっとした行き違いから、友達関係がうまくいけなくなり、その修復に頭を痛めました。

さらに、親や周囲の大人などと些^{ささい}細なことでぶつかり、その中で「自分って、どんな人」という自分探しができ、自分の進路を選択することができました。



うつのみや教育改革の3つの戦略

● 教育改革の方向性

子どもたちは、家庭や地域社会、学校、企業などから、たくさんの支援「貴重な贈り物」を受けながら、心豊かでたくましい大人に成長していきます。

しかしながら、現在、核家族化の進行や地域社会のつながりの希薄化などにより、家庭や地域における教育力の低下が指摘され、勤労観や職業観が不足している若者の増加などの社会問題も顕在化しています。心豊かでたくましい「宮っこ」をはぐくむためには、子どもの教育に大きな影響をもつ家庭における教育力の向上はもとより、多様な価値観と触れる機会を創出する地域活動の活性化、多くの教育資源をもつ企業の教育への参画が必要です。

今後、家庭や地域社会、学校、企業が、子どもたちに対し、それぞれのよさを生かした教育を展開し、かけがえのない「貴重な贈り物」をしている「誇り」と「自覚」をもつとともに、連携協力しながら、次代を担う「宮っこ」を育成することがとても重要です。



● 人づくりの3つの戦略

家庭や地域社会、学校、企業が、次代を担う子どもたちに「貴重な贈り物」ができるようにするため、それぞれの教育力向上に向けた3つの戦略に取り組みます。

戦略1

親や地域の大人たちが、「自信」と「責任」をもって、子どもたちを教育できる力を向上させる。

子どもの教育を充実するためには、まず親や大人の教育力を向上させることが重要です。そのため、親や地域の大人が集まるあらゆる機会を通して、親としての在り方を学ぶ「親学」を実施し、子どもへの教育力向上に努めます。

戦略2

学校が、家庭や地域のもつ教育力を十分に活用して自らの教育力を高めることで、学校教育を充実させる。

子どもを教育する上で、制度的にも最も確立されている学校教育を充実させることは極めて重要です。そのため、教師が子ども一人一人に応じた指導の実現に努めるとともに、「魅力ある学校づくり地域協議会」などにより、親や地域のもつ教育力を積極的に活用して、学校の教育力をさらに高めるようにします。

戦略3

企業の教育への参画を促進する。

現在、多くの教育資源をもつ企業の教育への参画が求められています。そのため、学校等における企業人を活用した出前講座実施により勤労観や職業観の育成に努めるとともに、企業内研修の一環として家庭教育の研修を促進します。



【平成18年度の主な取組】ファーストステージ

〔食育フェアの開催〕

子どもにかかわる「食」を取り上げ、市民に食育の重要性を啓発するため「食育フェア」を開催し、25,000人が参加しました。



〔入学式人づくり校長講話〕

入学式配付リーフレットをもとに人づくりの重要性とそれぞれの学校における教育重点について、校長先生が講話しました。

〔給食費滞納対策〕

学校給食費の支払能力があるにもかかわらず、意図的に滞納している保護者に対して、支払い督促の申立てを含めた滞納対策の取組を行いました。



(※小学校での楽しい給食の様子。写真と本文は関係ありません。)

〔地域教育力向上フォーラム実施〕

各中学校区で、地域の保護者や学校・団体代表者などが集まり、地域ぐるみで子どもたちを守り育てることについて話し合い、メッセージをまとめました。



〔地域子ども教室開催〕

放課後や週末を利用して、地域の大人が子どもたちに継続的にスポーツ・文化活動など様々な体験活動を行う「地域子ども教室」を自治公民館や空き店舗などを活用して実施しました。

〔伝統文化継承事業推進〕

地域の伝統文化を継承し、子どもたちが、ふるさとに誇りをもちながら成長していくことができるよう、事業の計画づくりを進め、伝統文化フェスティバルを開催しました。



〔学校図書館司書の配置〕

全小中学校に学校図書館司書を配置し、授業中ではもとより、夏季休業中でも充実した読書指導や調べ学習の支援ができるようにしました。



〔指導助手の配置〕

一人一人の学習を支援する指導助手を配置し、きめ細かな指導の充実に取り組みました。

〔魅力ある学校づくり地域協議会設立〕

学校とPTA・地域諸団体・企業代表の方々などが一体となり、学校教育や地域ぐるみでの活動推進のための組織を市内8小学校、3中学校で設立しました。



〔企業出前講座の実施〕

市内の企業に従事する職員に対して、子育ての意識と実践力を高める研修を実施しました。



〔企業人による学校出前講座〕

企業のもつ特性を生かし、企業の職員が児童生徒に対し、専門的な立場から創意を生かした授業を学校の教員と協力しながら展開しました。

〔宮っ子チャレンジの実施〕

市内全中学校において、地域の多くの人と触れ合う社会体験活動を通して、働くことの尊さなどを実感させる宮っ子チャレンジウィークを実施しました。



【平成19年度の主な取組】セカンドステージ

心豊かでたくましく宮っ子をばぐむむ「つつのみや教育改革」

家庭

〔親学の推進〕

以下の取組を通して、親学を推進します。

- ・PTA研修会、保護者会などの機会をとらえたワークショップ、講演会等の実施
- ・生涯学習センターにおける家庭教育講座の充実
- ・親学情報誌「KODOMO LOOK」による情報提供
- ・食育ビデオの活用
- ・幼稚園における親学推進 など



地域

〔宮っ子ステーション事業推進〕

放課後等に子どもの安全で安心な居場所を確保するとともに、子どもが多様な体験をしたり、地域の大人と交流したりできるように、地域住民が主体的に運営する宮っ子ステーションの設立を推進します。



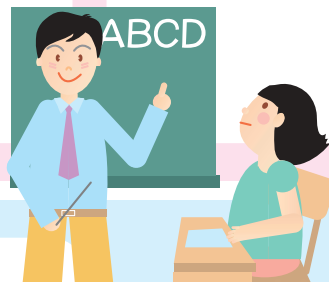
〔地域スポーツクラブ設立推進〕

子どもからお年寄りまでが気軽にスポーツに親しむことができるよう、地域住民が主体的に運営する地域スポーツクラブの設立を推進していきます。

学校

〔学校教育スタンダードに基づく実践〕

「基本をしっかり！～あいさつ・朝食・漢字に計算～」を合言葉に、教えるべきことをしっかりと指導します。



〔小学校へのSC派遣〕

現在市内中学校全校に派遣されているSC（スクールカウンセラー）に加え、小学校にもSCを派遣します。

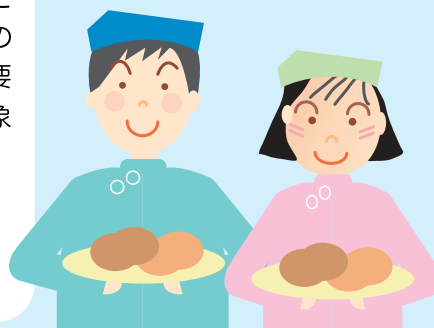
〔頑張る学校プロジェクト交付金〕

学校からの企画提案型の予算を新設し、それぞれの学校の裁量を生かし、活気あふれる特色ある学校づくりを推進します。

企業

〔人づくり講演会開催〕

企業内の人づくりはもとより、家庭や学校などとの連携による人づくりの重要性をテーマとした企業対象の講演会を開催します。



〔出前講座の充実〕

日ごろから忙しく企業で勤務されている方にも、人づくりのポイントを理解してもらおうと、企業の方を対象とした人づくりの出前講座を開催します。

◇出前講座の募集をしています。

子育てアカデミー（出前版）

子どもをより良く育てるために、子どもとの関わり方や必要な知識などを学ぶ出前講座です。今年度は、より利用しやすいように、講座内容を相談して決める「フリープランコース」と講座内容をメニューから選択して決める「プログラムコース（親学出前講座）」をご用意しました。



子育て応援出前講座

地域や企業人として忙しく勤務されている保護者の方にも、家庭教育の大切さを考えてもらう出前講座です。昨年度は、参加者の方々から「子どもの成長に応じたかかわり方がある。」「子どもの叱り方で悩んでいたの、その悩みが解消した。」などの感想をいただきました。



今後も、下記の要領で出前講座を開催いたしますので、希望の方はご連絡ください。

	子育てアカデミー（出前版）		子育て応援出前講座 （企業・地域）
	フリープランコース	プログラムコース（親学出前講座）	
時間	2時間以内 午前10時～午後8時 （土・日曜日・祝日は午後4時まで）	プログラムの内容によります。 （目安：30分～2時間程度）	特に指定はありません。
会場	申込団体をご用意ください。		
費用	派遣費用や資料代は無料。会場にかかる費用は申込団体が負担。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講話 「しつけと子育て」 「栄養と食事」 「心の発達と成長」 など ・ 親子体操 ・ ゲーム など （学びたい講座内容を相談して決めます。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループワーク 参加者同士の話し合いを通して子どもの成長や接し方を考えます。 「仲間づくり」 「子どものいいところを伸ばそう」 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講話 「ライフステージごと（乳幼児期、少年期、青年期など）の 人づくり」 「子どもとの上手なかかわり方」 など
講師	・ 親子体操等の外部講師	・ 市職員など	・ 市職員など
その他	おおむね10人以上の団体。（フリープランコースの利用は各団体1回）		特に指定はありません。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申込団体の希望する日程を伺い、市が調整いたします。希望に添えない場合は御了承ください。 ・ 要望や苦情・交渉などをする場ではありません。 		
連絡先	中央生涯学習センター （Tel 632-6331）	生涯学習課 （Tel 632-2674）	教育企画課 （Tel 632-2707）

お問い合わせ 宇都宮市教育委員会 教育企画課
 住 所 〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5
 電 話 028-632-2706
 電子メール u4612@city.utsunomiya.tochigi.jp
 ホームページアドレス <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp>